

令和元年台風19号対応に伴う 足立区避難所運営会議 本部長・庶務部長会議（臨時） 議事録

日 時 令和元年12月2日（月） 午前10時から午前11時40分まで

場 所 足立区本庁舎中央館2階庁舎ホール

参加者 各避難所運営会議の本部長、庶務部長など169名（区出席者等を除く）

《議事要録》 （司会：防災力強化担当課長）

1 出席職員紹介

- (1) 区長、副区長、教育長、総合防災行政アドバイザー
- (2) その他出席職員は席次表による紹介

2 令和元年台風19号の概要【説明者：総合防災行政アドバイザー】

台風の進路、荒川の水位、近年の自然災害等について

3 令和元年台風19号への対応-見えてきた課題と対応策【説明者：区長】

台風接近に伴う足立区の対応、区内の被害状況、課題と対応策について

4 課題解決への取り組み-水防体制再構築本部-【説明者：区長】

水防体制の再構築に向けた区の検討体制について

5 意見交換・質疑応答

テーマ 避難所の開設・運営に関すること
区からの情報発信に関すること

避難所の開設・運営に関すること（発言順）

質問	質問主旨	回答者	回答内容
消防団について	消防団員の役割について、皆さんにも知っていただきたい。 (消防署からの命により避難所から引き上げた際、非難を受けた)	危機管理部長	消防団員の災害時の役割は承知しているが、今回は避難所への派遣を依頼させていただいた。避難所を運営していただいている皆さまが、ボランティアであることも分かるようにする。避難所を担当する所属、職員、役割分担を検討していく。

旧千寿第五小学校の活用について	足立一丁目から四丁目に学校が1校しかない。受付の段階でかなり混乱し、ここの避難所には入れないとの噂も流れた。旧千寿第五小学校は災害時活用できないのか。	危機管理部長	受付で断った避難所があったことは報告を受けている。災害対策本部では、断らないよう指示していたが、派遣した職員に行き渡っていなかった。
		区長	旧千寿第五小学校と同様に、旧本木東小学校も活用をというご意見を頂戴している。旧千寿第五小学校は、来年のオリンピックで警察の使用を予定しているが、電気系統や床の状況を確認し、避難所として使用可能か検討していく。
避難所の後片付けについて	後片付けについて、区はどう考えているのか（備蓄物品、避難者のごみなど）。	危機管理部長	水や食料は避難者が持参すべきとのご意見も頂戴している。今回は、ごみの処理を学校にご協力をいただいた。今後ルールを統一するよう検討していく。なお、使用した備蓄物品の補充は、早いものは年内、遅いものでも年度内に実施する。
学校の協力について	学校（教職員）からはどの程度協力してもらえるのか。要綱があると聞いているが、それを知らないと避難所運営会議としてどう協力していけるか分からない。	教育長	これまでの地震対策と分けて考える必要がある。教員の支援・役割分担も検討していく。
消防団について	消防団には、消防行政の特別な任務がある。避難所での役割を明確にすべき。	危機管理部長	これから消防署や消防団と意見交換しながら検討する。
マンパワー不足	若い世代の避難者が多くいた。SNSの活用に強い方に協力を募るなどの仕組みを考えてほしい。	危機管理部長	今回の台風で、卒業生など若い方々がお手伝いいただいたケースも報告を受けている。ボランティアとしてこういった役割で協力していただくかの仕組みを検討していく。

テレビ・ラジオ	今回は、自前のテレビやラジオで情報を得た。学校で活用できるものはないか。	教育長	テレビなど情報機器は職員室にあり、いざという時には使えるが、部屋の使用可否も整理して検討していく。
都営住宅の活用	足立区には都営住宅が多くある。それらの空き部屋を活用できないのか。	危機管理部長	都営住宅のどこに逃げるかということも含めて、都営住宅の管理者側と検討していく。
避難所運営会議	本部長の体調不良により、数年運営できていない。区主導で、避難所運営会議を立ち上げてほしい。	危機管理部長	区も一緒に協力しながら進めさせていきたい。
上層階への避難	配慮が必要な方を上層階に避難させる場合、怪我をさせてしまったら誰が責任をとるのか。	副区長	保険への対応などを含めて、区での対応を検討させていただく。
	高齢者や車椅子の方、障がいをお持ちの方を上層階に上げることが困難。エレベーターを付けるなどが必要。	危機管理部長 学校運営部長	途中から上層階に上がっていただくことは困難だというご意見を頂戴していることを念頭において、初めから上層階に避難していただくかを検討していく。 エレベーターは、小・中学校 28校に整備している。今後は、施設更新の際に整備する方針だが、その他工夫できることを危機管理部とも協議していく。
災害備蓄の毛布	毛布とマットがセットになっているはずだがなかった。ホームページではマットも有るとなっていたため、避難者とトラブルになった。	災害対策課長	学校によって、マットが整備できていない所もある。マットの必要性を踏まえながら、備蓄を進めていく。
派遣された区職員について	区職員が避難所について何も分かっていなかった。	災害対策課長	災害対策本部と、避難所との連絡体制が確保できていなかった。通信手段確保についても、専門部会の中で検討していく。

教職員について	金曜日の段階から、学校長・副校長らが残ってくれていた。 いない学校もあったと聞いているがどうか。	教育長	地震と違い、水害は事前の把握が可能なため、教職員の体制についても協議し、ご提示させていただく。
マニュアル	マニュアルを整備してほしい。地震・水害の場合を踏まえたマニュアルを要望する。	危機管理部長	避難所開設の手順書を作成するため、その中で可能な限り細かく掲載するようにする。
ハザードマップ	千寿小学校がハザードマップ上では×となっているが、何故開設したのか。	危機管理部長	荒川の水位状況を確認し、氾濫の危険性が高まったことから、命が助かる可能性が高いと判断し、×となっている避難所についても開設した。

区からの情報発信に関すること（発言順）

質問	質問主旨	回答者	回答内容
区からの情報	区からの情報が避難者に流れなかった。 避難勧告が解除されていないにも関わらず、雨風が止むと帰宅する方が多かった。 避難所運営本部にも伝わらなかった。	政策経営部長	区では、A-メール、ホームページ、ツイッター、エリアメールなど様々な方法で発信したが、伝わりきっていないことのご意見も頂戴している。 どの段階で、誰に、どのような手法で情報を発信するか検討し、皆さまにお知らせする。 また、区から避難所担当職員への情報、避難所担当職員から避難所の皆さまへの情報共有についても、仕組みを検討する。
内水氾濫	時間 100mm 以上の雨が 2 時間降れば、内水氾濫が起こる。 内水氾濫についても危惧すべき。	災害対策課長	下水道の処理能力を超えると内水氾濫の可能性はあるが、処理能力が追いつけば、時間の経過とともに水は引いていくため、河川氾濫とは異なる。
区からの連絡	避難所を開設する旨、区から追って連絡するとのことであったがこなかった。 町会長としての立場からも連絡は欲しい。	災害対策課長	今回は、区から本部長・庶務部長を中心にご連絡し、他の会長や各部部长までは連絡できていなかった。 今後は、避難所運営会議の中での連絡体制をお願いしたい。

避難所について	避難所が町会の端にある。近隣の私立学校との連携をとるべき。	災害対策課長	一部の私立学校では、区からの要請より前に避難者受入れに協力いただいていた。 今後、区から働きかけを行い、訓練等を通じて協力体制を築いていきたい。
重点的な情報発信	避難者数や地域に相関関係があるのか。 あるのであれば、その地域に重点的に情報発信すべきでは。	危機管理部長	段階的に避難所を開設したため、早く避難したい方が、早く開設した遠方の学校に避難された傾向はある。 今後は一斉に避難所を開設できるよう進めていく。
ハザードマップ	地域が拡大されているものがあるとありがたい。色彩もできれば分かりやすくしていただきたい。	都市建設部長	今回の反省点等を踏まえてハザードマップの改訂を考えているため、地区別でクローズアップすることも検討させていただきたい。
区からの連絡	災害対策課と区民事務所からの連絡が食い違っていた。 連絡システムを1つにしてもらいたい。	危機管理部長	避難所開設に混乱をきたさないよう、誰から誰に連絡するのがよいのか、仕組みを検討する。
ハザードマップ利用方法解説DVD	区の待合室などで流すなど更に活用すべきでは。	都市建設部長	あらゆる場面でご覧いただけるよう、関係課と調整していく。
避難者の情報	足立区人口68万人のうち、何故3万人しか避難しなかったのかを実態調査すべき。	危機管理部長	高層階にお住まいの方の避難や、区外への避難など、避難のあり方についてこれから検討していく。 実態調査についても検討していく。
防災行政無線	荒川区の放送はよく聞こえるが、足立区のは聞こえない。	危機管理部長	防災行政無線が聞こえなかったと、たくさんの方々からご意見をいただいている。 防災行政無線以外の方法も検討させていただきたい。

全体を通じて（発言順）

質問	質問主旨	回答者	回答内容
避難所開設	「避難所開設キット」のようなものがあるとよいのでは。（ハンドマイク、ピブス、名簿）	災害対策課長	スムーズに開設できる仕組みを検討する。 配置する部・職員が決まった際には、顔が見える関係作りも進めていく。
備蓄物品の運搬	役員が高齢化しており、食料や毛布等の運搬が大変であった。備蓄倉庫の場所も検討してほしい。	災害対策課長 教育長	備蓄物品のリヤカーを活用していただきたい。ボランティアや、避難者の中でお手伝いしていただける方を募る仕組みも手順書に盛り込んでいく。 学校で普段使っている台車なども使えるよう、配置場所なども分かるようにしておく。
避難が困難な方への支援	孤立ゼロプロジェクトにて、避難が困難であると答えている方がいる。避難を支援した実績など報告があれば聞きたい。	地域のちから推進部長 危機管理部長 福祉部長	孤立ゼロプロジェクトの調査リストを活用していただいた実績もあった。 ご自分では避難できない方を、地域の方々の協力により、避難所に移送した報告もある。 区のみでの対応は難しいため、介護事業者にもご協力をいただくなど、対策を検討したい。

6 閉会

閉会にあたり区長より挨拶

- (1) 来年の出水期までに、手順書の整備など、喫緊の課題について対応していく。
- (2) 12月以降、各地区の町会・自治会連合会の会議に可能な限りご出席させていただくため、個別の情報をお聞かせいただきたい。
- (3) これからも、足立区の防災対策にご理解・ご協力をいただきたい。